

平成27年度 魚沼市生活科部 活動報告

部長 五十嵐 悟

1 研究主題

学習指導要領の主旨を生かした生活科の授業観の理解を深め、部員の授業力向上を図る。

2 研究の概要

- ・フィールドワーク
- ・授業研修会、情報交換

3 研究の実際

(1) 響きの森公園周辺フィールドワーク

- ① 日 時：8月7日（金） 13：30～16：00
- ② 場 所：響きの森公園周辺（干溝 林泉庵のブナ林 響の森公園 泉沢周辺）
- ③ 講 師：NPO法人魚沼交流ネットワーク



(2) 授業公開

- ① 日 時：9月15日（火） 13：30～16：00
- ② 会 場：伊米ヶ崎小学校
- ③ 授業者：教諭 三膳 真悠
- ④ 内 容：4学年 総合的な学習の時間
「かけがえのない森」～伝えていこう守っていこう～
- ⑤ 協議内容

授業後の研究協議会では、授業を参観した感想をグループ毎にKJ法を用いて整理し発表した。その中で、児童が郷土（魚沼）の魅力を発見し、自らも大切にしていこうとする意欲を高めるために総合的な学習の時間は大変貴重であること、また、実際に見て触れて関わることを通して、自ら考え、悩み、創り上げていく過程が重要であることなどが話し合われた。

4 成果と課題

- フィールドワークでは、夏の森林でよく見る木の名前やその由来、この地域独自の木や草、花などを教えていただいた。また、実際に児童を連れて行く場合に配慮することやポイントなどを、現場で直接指導していただくことができた。子どもの立場になり体験することができ、大変分かりやすく、すぐにでも授業に生かしたくなるフィールドワークだった。
また、地域の自然のよさや豊かさを知るとともに、魚沼交流ネットワークの方の活動内容を知るよい機会ともなった。
- 授業公開においては、いくつかの思考ツール（クラゲチャート、ピラミッドシート等）を用い、グループ学習や一斉学習を効果的に組み合わせ、児童の思考を導き出し、みんなで分かりやすくまとめていく様子を見ることができた。また、児童の相互のお互いに信頼し合う温かな関係がそれらの思考過程の基盤として重要であることを参観を通して再認識することができた。
- しばらく総合的な学習の時間の授業公開が続いているので、次年度は生活科の学習の研修に重点を置いて取り組んでいきたい。

